

北アメリカ北西海岸先住民社会の変化と先住民アート

シルクスクリーン版画を中心に

岸上伸啓（国立民族学博物館・総合研究大学院大学）

北アメリカ北西海岸先住民とは、アラスカ州南東部からカナダを経てワシントン州あたりに至る北アメリカ太平洋沿岸地域を生活領域としてきた人々である。彼らはポトラッチ儀礼を実施し、巨大なトーテムポールを制作してきたことでよく知られている。

北アメリカ北西海岸先住民は 18 世紀後半のヨーロッパ人との接触後、それ以前に比べるとはるかに急激な社会・文化変化を体験した。彼らと欧米人との接触には良い面と悪い面があった。彼らはラッコやビーバーの毛皮を欧米から来た交易者と取り引きすることによって莫大な富を手に入れ、それを利用して儀礼活動やトーテムポールの制作などを活性化させた。その一方で、欧米人がもたらした天然痘などの伝染病の流行は先住民人口を激減させ、社会の再編成を余儀なくさせた。また、カナダ政府は、1884 年にポトラッチ儀礼を禁止する法律を制定し、翌年から施行した。この法律は 1951 年に改正され、同儀礼の禁止は解除されたが、この 65 年あまりの間に先住民の言語や儀礼活動、トーテムポールの制作活動は壊滅的状態といえるほどに衰退した。この先住民社会・文化の衰退は、1840 年代から 20 世紀後半まで続いた先住民寄宿学校での同化教育の実施によっても拍車がかげられた。しかし、1960 年代に活発化した先住民運動や 1970 年代半ばのカナダ政府の先住民政策の変更に伴い、カナダの先住民は政治的自律化の道を模索し始め、現在に至っている。

北西海岸先住民社会・文化の衰退の歴史は、1950 年代のポトラッチ儀礼やそれに付随するトーテムポール制作や儀礼具制作の再開によって大きく変わり、伝統文化の復興への道を歩み始め、1960 年代から 1970 年代にかけて先住民文化のルネッサンスと呼ばれるほどの活況を呈した。1960 年代以降に伝統文化の復興や創造的継承の推進力のひとつとなったのはアート制作であった。北西海岸先住民アートとは、大別すれば、トーテムポールや仮面などの木彫品、かご細工、銀製腕輪などの宝飾品、アジャイト石製彫刻品、織物、そして版画である。

20 世紀後半に北西海岸先住民アートの市場が確立されたが、北西海岸先住民アートの中で版画は特異な存在である。版画という媒体は、1960 年代に欧米から入ってきたもので、「伝統的な」ものではない。さらに 1 枚の原画から 250 枚から 400 枚の版画が刷られるという意味で、「複製」や「複数性」という特徴を持っている。版画は他のアート作品よりも安価であり、社会内外のさまざまな人々の間に広く流通した。1970 年代には制作がピークに達した後、現在でも制作され続けている。

北アメリカ、北西海岸先住民、社会変化、先住民アート、シルクスクリーン版画

本発表では、北西海岸先住民版画の特徴と変化について検討するとともに、変貌を続けてきた北西海岸先住民社会において版画が果たした役割について考察を加える。本発表の暫定的な結論は、下記の通りである。

(1) モチーフ：1960 年代から 1980 年代にかけて版画という新たな媒体を利用して伝統的な世界観や動物と人間の関係を描き出した。すなわち、モチーフは「伝統的な」ものであった。しかし 1980 年代以降、先住民運動や環境問題を訴えるモチーフをもつ版画が制作されるようになり、21 世紀にはスポーツや映画を題材にした作品が出現した。

(2) 表現方法：版画の図像は独特の分割表現法や対称表現法で描かれており、基本的には伝統的な表現方法が継承されている。その一方で、日本の錦絵や墨画の影響を受けた風景を描いた作品が出現した。また、海岸セイリッシュの間では、紡錘車からイメージを得た円形の構図を基本とする版画が出現した。

(3) 技法：版画ではシルクスクリーン（セリグリップ）技法が採用された。この技法は現在でも踏襲されているが、21 世紀入るとデジタル版画が出現した。

(4) 収入源：1970 年代に 1 枚が数十ドルから 250 ドルで販売された版画の制作・販売は、北西海岸先住民の収入源のひとつになった。ビル・リード（故人）やロバート・デイビッドソン、スーザン・ポイントらの専門のアーティストが出現し、現在では 1 枚の版画が数千ドルで売買されることがある。

(5) 発信手段：北西海岸先住民は版画を通して独自の文化を社会一般に発信することによって、その文化および文化の担い手である民族の存在を知らしめる手段となった。

(6) アートとしての位置づけ：近年、北西海岸先住民アートには絵画、ガラス製作品、金属製作品やインスタレーションなどの作品が加わり、世代交代とともに多様化が進んでいる。その中で版画は、北西海岸先住民アートとして重要な位置を占め続けている。

(8) 社会変化と版画の変化：世界の変化が版画の内容や技法に変化をもたらしてきた一方で、北西海岸先住民アーティストにとって版画は社会一般に自らの文化や意見を発信し、影響を与える重要な手段である。

（参照文献）

Young, India Rael (2017) Cultural imPRINT: a History of Northwest Coast Native and First Nations Prints. Ph.D. Dissertation, Dept. of Art History, University of New Mexico, Albuquerque, USA.